

新年のご挨拶



玩具人形健康保険組合
理事長 戸所 正敏

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族の皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、当健保組合の事業運営に対し、平素より多大なるご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

さて、国民医療費は、平成28年度の概算で41.3兆円と年を追うごとに増え続けており、健保組合連合会の試算では、団塊世代すべてが後期高齢者になる7年後には57.8兆円にまで跳ね上がると予測されています。

この増え続ける国民医療費をだれがどのような形で負担していくのか、国民全体でより良いあり方を考え、世界に冠たる我が国の公的医療保険制度を守っていく必要があります。

健保組合は、高齢者医療を支えるための多額の支援金・納付金等を国に納めており、それが大きな要因となって大変厳しい運営を余儀なくされておりますが、本年も皆様の健康を守り、各種健診をはじめとする健康づくり事業に力を注いでまいります。

また、レセプトデータや健診データをベースにして効果的・効率的に保健事業を進める「データヘルス計画」を平成27年度から実施しており、3年間の試行期間を経て平成30年度からは「本格稼動」の2期目を迎えることから、皆様の健康づくり、病気の重症化予防のお役に立てるよう、事業主の皆様のご理解ご協力をいただきながら積極的に展開してまいります。

皆様も「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、健保組合が実施している健診の受診と健診結果を活用しての健康づくり、ジェネリック医薬品の利用などによる医療費適正化にご協力いただければ幸いに存じます。